

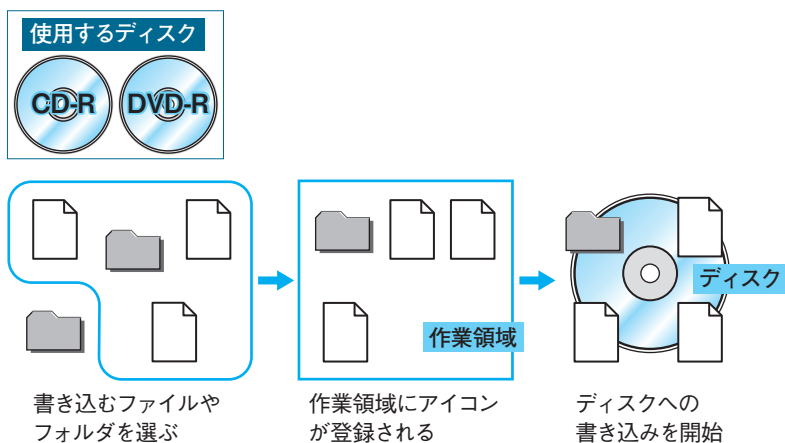
トラブルの少ない「マスタ方式」で記録する

「マスタ方式」で書き込んだディスクは、読めないというトラブルが起きにくいのが特徴です。データの受け渡しや長期保存にぴったりです。

■ ファイルを登録してから書き込む

マスタ方式ではファイルを一気にまとめて書き込むのが特徴です。ファイルやフォルダを選んでツールバーの[書き込む]を左クリックすると、ファイルやフォルダが作業領域に登録されます。すべてのファイルやフォルダを登録してから作業領域のウィンドウを開き、[ディスクに書き込む]ボタンを左クリックすれば書き込みが始まります。

マスタ方式には「CD-R」や「DVD-R」を使うのがおすすめです。DVD-RWなど書き換え型ディスクも使えますが、マスタ方式はいったん書き込んだデータを消せないの書き換え型ディスクの良さを生かせません。



書き込むデータを選択する



1 データが入ったフォルダを開く

ここでは[ピクチャ]フォルダの中にある写真ファイルをCDやDVDに書き込む方法を例に説明していきます。まずは[スタート]ボタン①→[ピクチャ]②と左クリックし、データが入ったフォルダを開きます。



2 ファイルやフォルダを選択する

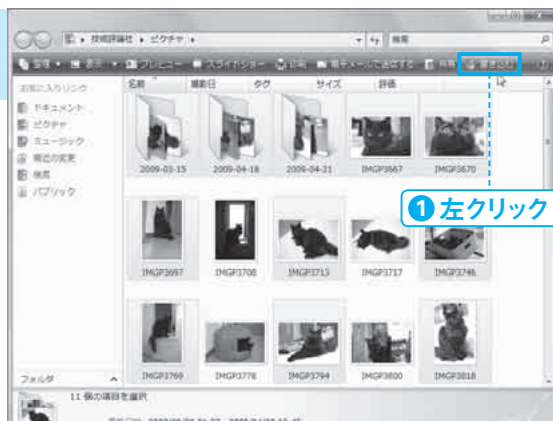
ディスクに書き込むファイルやフォルダを選択します。ファイルやフォルダを **Ctrl** キーを押しながら左クリックしていく①と、複数のファイルやフォルダを選べます。

メモ ▶ **Ctrl** キーを押しながら **A** キーを押すと、すべてのファイル/フォルダを選択できます。



3 [書き込む] を左クリックする

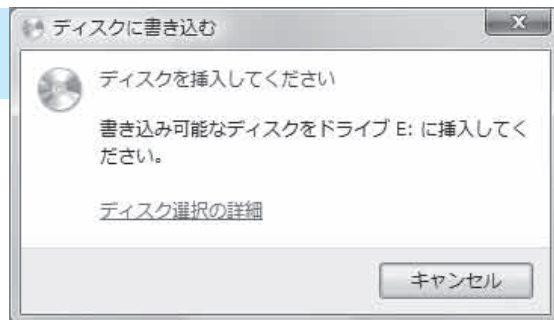
ツールバーの[書き込む]を左クリックします①。



4

ドライブのトレイが開く

「ディスクを挿入してください」というメッセージが画面に表示され、ドライブのトレイが開きます。

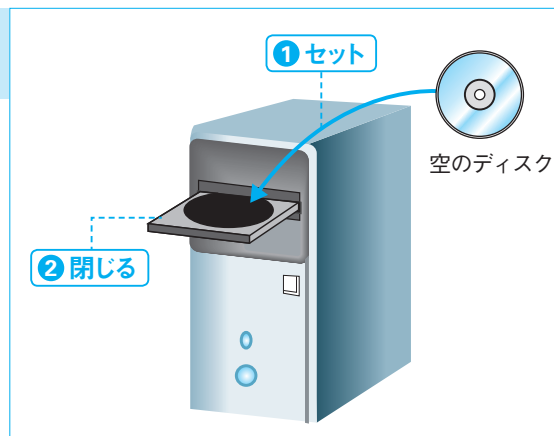


5

ディスクをセットする


新しいCD-RやDVD-Rをドライブのトレイに**セット**①、ボタンを押してトレイを**閉じる**②。必ず、記録面の方が読み取り部分に接するようにセットします。

メモ ▶ ノートパソコンではボタンでトレイを閉じるのではなく、トレイを手で押し込むタイプもあります。



COLUMN

【書き込む】ボタンが見あたらないときは

ウィンドウのサイズが小さいときはツールバーにすべてのボタンが並びません。【書き込む】ボタンが見あたらないなら、ツールバーの右端にある  を左クリックする①と隠れていたボタンが現れます。



ディスクにデータを書き込む



1 書き込みの設定画面が開く

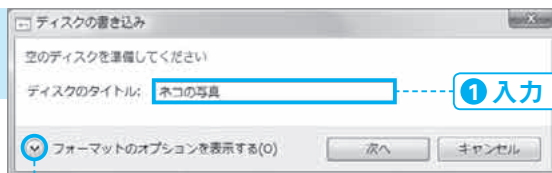
ディスクが認識されると、[ディスクの書き込み]画面が開きます。



2 タイトルを設定する

ディスクにタイトルを付けておくと、ディスクをセットしたときにタイトルが表示されるので内容がすぐにわかります。16文字以内の名前を**入力**します①。

[フォーマットのオプションを表示する]を**左クリック**します②。

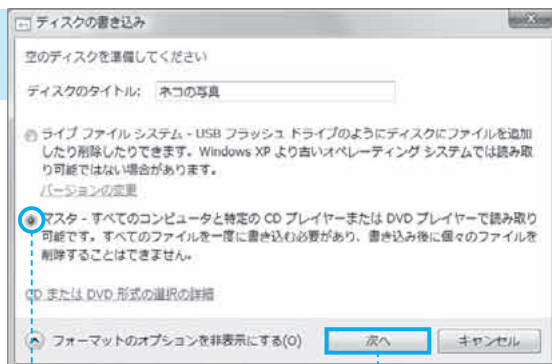


② 左クリック

メモ ▶ タイトルには日本語も使えます。

3 書き込み方式を指定する

[マスタ]を**左クリック**して選択し①、[次へ]ボタンを**左クリック**します②。



① 左クリック

② 左クリック

メモ ▶ [ライブファイルシステム]での書き込み手順はSection02 (30ページ)で紹介します。